

別表 技術提案書評価表

							採点記号	A	B	C	D	E
							掛け数	1	0.75	0.5	0.25	0
対象	評価項目			配点	評価ポイント		評価	特に優れている	やや優れている	普通	やや劣る	劣る
	大区分	中区分	小区分									
	制度、業務及び情報システムに対する理解度	基本的な考え方	本市への提案にあたっての基本的な考え方	15	15	・本業務への取り組みの基本方針が本市の方針と合致しているか。 ・事業者が制度、業務及び情報システムについて理解しているか。	基礎点	・本業務への取り組みの基本方針が本市の方針と合致している。 ・事業者が制度、業務及び情報システムについて理解している。	-	-	-	左記以外
	会社組織の実績等	設計・開発等に関する技術的能力	従事者の資格や専門知識、業務経験等	90	15	・記載内容に具体性があり、十分な技術的能力を有するものと評価できるか。 ・従事者としての資格や専門知識、業務経験等は十分か。 ※CSPの上級資格(例) AWS の場合：Solution Architect Professional GCP の場合：Professional Cloud Architect Azure の場合：Azure Solutions Architect Expert OCI の場合：Oracle Cloud Infrastructure Architect Professional ※CSPの中級資格(例) AWS の場合：Solutions Architect – Associate GCP の場合：Associate Cloud Engineer Azure の場合：Azure Administrator Associate OCI の場合：Oracle Cloud Infrastructure Architect Associate	3段階評価	CSPの上級資格保有者がプロジェクトの体制に参画している。	-	CSPの中級以上の資格保有者がプロジェクトの体制に参画している。	-	左記以外
					ガバメントクラウドのCSPのパートナー資格取得状況(CSPとのパートナーネットワークの認定の取得状況など)	30	利用を想定するガバメントクラウドのCSPについて、貴社のパートナー資格取得(CSPとのパートナーネットワークの認定の取得など。社員のCSP資格取得状況ではない。)がなされているか。	5段階評価	利用予定のCSPから最も経験豊富なパートナーで、それぞれの地理的市場、垂直市場、または水平市場のリーダーとして認知されている。 (例えば、AWSの場合、最上位のティアであるAWSプレミアムティアサービスパートナー)	利用予定のCSPからトレーニングと認証を受けた技術者の強力なチームを抱え、カスタマーエクスペリエンスの面でも実績のあるパートナーと認知されている。 (例えば、AWSの場合、上位のティアであるAWSアドバンストティアサービスパートナー)	利用予定のCSPからトレーニングと認証を受けた人員とともに、カスタマーエクスペリエンスを提供するパートナーと認知されている。 (例えば、AWSの場合、中位のティアであるAWSセレクトティアサービスパートナー)	利用予定のCSPにパートナーとして登録されている。 (AWSレジスタードパートナー)
		教育・研修要件への適合度 (システム管理者向け操作研修、利用者向け操作研修等)	30	・システム管理者向け操作研修、利用者向け操作研修等について、記載内容に具体性があり、十分に効果的な教育・研修内容と評価できるか。 ・実施時期、実施方法、回数等が適当であるか。	5段階評価	①職員等がシステムのテスト環境(ステージング環境)などで、実機を通じて操作確認を行うことができ、また②その期間が早期から用意され、かつ③職員等からの問合せに対してもオンサイトに近い状態で回答される研修要員の体制が確保されている。	左記のうち、①～③のいずれか2つが確保され、研修内容が提案されており、その実施時期、実施方法、回数等が明確化され、かつ研修の効果が見込まれる。	左記のうち、①～③のいずれか1つが確保され、研修内容が提案されており、その実施時期、実施方法、回数等が明確化され、かつ研修の効果が見込まれる。	左記のうち、①～③のいずれも確保されていないが、代替的な研修内容が提案されており、その実施時期、実施方法、回数等が明確化され、かつ研修の効果が見込まれる。	左記以外		

							採点記号	A	B	C	D	E	
							掛け数	1	0.75	0.5	0.25	0	
対象	評価項目			配点			評価ポイント	評価	特に優れている	やや優れている	普通	やや劣る	劣る
	大区分	中区分	小区分										
7		設計・開発等の実績	類似システム、類似規模（工数／費用）、類似開発手法及び類似スケジュールでの開発実績、現有システムと同等のシステムからのシステム移行の実績、利用予定CSPでの構築実績、運用実績があること。	30	15	・政令指定都市にて本業務と類似実績があるか。 ・利用予定CSPでの構築実績、運用実績があるか。 ・顧客からの実績証明等を提示できるか（結果に満足していることの担保）。 ・記載内容に具体性があり、関連性の高い実績があるか。	5段階評価	政令指定都市での住民記録、印鑑登録等システムの開発実績、システム移行の実績、利用予定CSPでの構築実績、運用実績があり、それらについての顧客からの実績証明等が提されている。	政令指定都市での他の基幹システムの開発実績、システム移行の実績、利用予定CSPでの構築実績、運用実績があり、それらについての顧客からの実績証明等が提されている。	政令指定都市での基幹システム以外のシステムの類似案件の開発実績、システム移行の実績、利用予定CSPでの構築実績、運用実績がある。	政令指定都市での左記以外の開発実績、システム移行の実績、利用予定CSPでの構築実績、運用実績がある。	左記以外	
					15	・人口規模が中核市以上の自治体にて本業務と類似実績があるか。 ・利用予定CSPでの構築実績、運用実績があるか。 ・顧客からの実績証明等を提示できるか（結果に満足していることの担保）。 ・記載内容に具体性があり、関連性の高い実績があるか。	5段階評価	中核市以上の自治体での住民記録、印鑑登録等システムの開発実績、システム移行の実績、利用予定CSPでの構築実績、運用実績があり、それらについての顧客からの実績証明等が提されている。	中核市以上の自治体での他の基幹システムの開発実績、システム移行の実績、利用予定CSPでの構築実績、運用実績があり、それらについての顧客からの実績証明等が提されている。	中核市以上の自治体での類似案件の開発実績、システム移行の実績、利用予定CSPでの構築実績、運用実績がある。	中核市以上の自治体での開発実績、システム移行の実績、利用予定CSPでの構築実績、運用実績がある。	左記以外	
		会社組織	会社規模（売上、従業員数等）	15	7.5	売上、従業員数及び組織体制等が、十分に本業務を遂行できる規模か。	基礎点	実際に受託者の担当部門が属する企業のセグメントにおける直近の年間売上高が10億円以上、かつ従業員数が50人以上であること。	-	-	-	左記以外	
			品質管理		7.5	品質管理、情報セキュリティ管理への取り組みについて、本市に必要な内容が具体的に記載されているか。	基礎点	・次に掲げるすべての事項を証明した者であること。 ア 情報セキュリティマネジメントシステムの認証(ISO27001)を取得していること。 イ 品質マネジメントシステムの認証(ISO9001)を取得していること。	-	-	-	左記以外	
11	プロジェクトへの対応	プロジェクトの計画能力	実施する作業の範囲及び内容、スケジュール概要、作業工程ごとのイベント・成果物、採用する開発手法等	30	30	・作業工程と合わせてイベント・成果物が具体的に記載されているか。 ・本市職員の負担を軽減し、無理のないスケジュールが示されているか。	5段階評価	①技術提案書の作業スケジュールの作業工程と合わせてイベント・成果物が具体的に記載されている。②本市職員の負担を軽減するための工夫が具体的に記載されており、かつ効果が期待できる。③作業スケジュールにおけるリスクと対策が想定されており、効果的かつ具体的な対策がなされることにより無理のないスケジュールとなることが期待できる。	左記のうち、①～③のいずれか2つが認められ、効果が見込まれる。	左記のうち、①～③のいずれか1つが認められ、効果が見込まれる。	左記のうち、①～③のいずれも認められないが、リスクはあるものの受容できる作業スケジュールである。	左記以外	

						採点記号	A	B	C	D	E
						掛け数	1	0.75	0.5	0.25	0
対象	評価項目			配点	評価ポイント	評価	特に優れている	やや優れている	普通	やや劣る	劣る
	大区分	中区分	小区分								
12	技術提案書	プロジェクト管理能力・運用管理能力	プロジェクト管理要件への適合度	60	60	5段階評価	①ガバメントクラウドのシステム構築や、政令指定都市である本市の特性が具体的にあげられており、特性ごとにとられるプロジェクト管理手法、管理項目の設定、管理内容が具体的に提案されている。 ②本市戸籍住民課、その他ステークホルダーとの調整事項が具体的にあげられており、円滑な調整のための区負荷が具体的に提案されている。 ③本プロジェクトの特性があげられ、特性に応じた遅延防止策、遅延のリカバリー方法が具体的に提案されている。	左記のうち、①～③のいずれか2つが認められ、プロジェクト管理が的確になされることが見込まれる。	左記のうち、①～③のいずれか1つが認められ、プロジェクト管理が的確になされることが見込まれる。	左記のうち、①～③のいずれも認められず、技術提案書の記載内容が一般的なシステム構築のプロジェクトマネジメントの範囲にとどまっているものの、本市として許容できるプロジェクト管理がなされることが見込まれる。	左記以外
13					30	5段階評価	①住民記録・印鑑登録等システムの構築、②パッケージシステムの構築、③CSP(ガバメントクラウドとしてデジタル庁が指定するCSP)のサービス上で稼働するシステムの構築のうち、①～③の全てで、過去の具体的な構築案件での経験・知見を有する実績が記載された要員が主たる従事者(従事割合50%以上の者)として配置されており、主たる従事者が保有しない知見についても他の従事者から十分な知見の共有が見込まれる。	左記①～③のうち、いずれか2つで、過去の具体的な構築案件での経験・知見を有する実績が記載された要員が主たる従事者(従事割合50%以上の者)として配置されており、主たる従事者が保有しない知見についても他の従事者から十分な知見の共有が見込まれる。	左記①～③のうち、いずれか1つで、過去の具体的な構築案件での経験・知見を有する実績が記載された要員が主たる従事者(従事割合50%以上の者)として配置されており、主たる従事者が保有しない知見についても他の従事者から十分な知見の共有が見込まれる。	従事者全体では、左記①～③の全てで、過去の具体的な構築案件での経験・知見を有する実績が記載された要員が従事者(従事割合を問わない)として配置されている。	左記以外
14				120	30	5段階評価	受託者の請負体制、要員体制、役割分担が明確化されている。 各担当者の専任／兼任（兼任の場合、当該担当者の他業務との比率）が明確化されている。 体制を構成する要員に占める主たる従事者(従事割合50%以上の者)の割合が75%以上である。	受託者の請負体制、要員体制、役割分担が明確化されている。 各担当者の専任／兼任（兼任の場合、当該担当者の他業務との比率）が明確化されている。 体制を構成する要員に占める主たる従事者(従事割合50%以上の者)の割合が50%以上である。	受託者の請負体制、要員体制、役割分担が明確化されている。 各担当者の専任／兼任（兼任の場合、当該担当者の他業務との比率）が明確化されている。 体制を構成する要員に占める主たる従事者(従事割合50%以上の者)の割合が25%以上である。	受託者の請負体制、要員体制、役割分担が明確化されている。 各担当者の専任／兼任（兼任の場合、当該担当者の他業務との比率）が明確化されている。	左記以外
15					30	3段階評価	①構築プロジェクトの品質管理のための取組みや体制の工夫について、具体的に提案されており、品質確保の観点で効果が見込まれる。 ②構築における品質管理のための取組みの提案内容について、ドキュメントの品質管理だけでなく、作業品質や成果物としてのパッケージの品質基準とそのプロジェクトにおける運用などが具体的に提案されており、効果が見込まれる。	-	左記のうち、①～②のいずれか1つで、具体的に提案され、構築プロジェクトの品質確保の観点で効果が見込まれる。	-	左記以外

						採点記号	A	B	C	D	E								
						掛け数	1	0.75	0.5	0.25	0								
対象	評価項目			配点	評価ポイント		評価	特に優れている	やや優れている	普通	やや劣る	劣る							
	大区分	中区分	小区分																
				30	・本業務における要件定義等の作業にて、担当する職員の負担を軽減するための方策が示されているか。	3段階評価	①業務における要件定義等システム構築の上流工程の作業内容が具体的に提案されている。 ②業務における要件定義等システム構築の上流工程の作業にて、担当する本市の職員の負担を軽減するための方策が具体的に提案されており、効果が見込まれる。	-	左記のうち、①～②のいずれか1つで、具体的に提案され、担当する本市職員の負担の軽減の観点で効果が見込まれる。	-	左記以外								
												30	・運用管理・保守のメンバーの実績に、住民記録、印鑑登録等システムの経験や自治体での支援経験があるか。 ・利用予定CSPでの構築実績、運用実績があるメンバーにアクセスできる体制となっているか。	5段階評価	①住民記録・印鑑登録等システムの運用管理・保守、②パッケージシステムの運用管理・保守、③CSP(ガバメントクラウドとしてデジタル庁が指定するCSP)のサービス上で稼働するシステムの運用管理・保守のうち、①～③の全てで、過去の具体的な運用管理・保守案件での経験・知見を有する実績が記載された要員が主たる従事者(従事割合50%以上の者)として配置されている。	左記①～③のうち、いずれか2つで、過去の具体的な運用管理・保守案件での経験・知見を有する実績が記載された要員が主たる従事者(従事割合50%以上の者)として配置されており、主たる従事者が保有しない知見についても他の従事者から十分な知見の共有が見込まれる。	左記①～③のうち、いずれか1つで、過去の具体的な運用管理・保守案件での経験・知見を有する実績が記載された要員が主たる従事者(従事割合50%以上の者)として配置されている。	従事者全体では、左記①～③の全てで、過去の具体的な運用管理・保守案件での経験・知見を有する実績が記載された要員が従事者(従事割合を問わない)として配置されている。	左記以外
		運用管理・保守体制（専任／兼任） （リリース前後の体制の変化を含む）	120	30	・リリース前後でサポート体制はどうか。 ・構築 S E と運用 S E との役割分担及び連携体制が妥当であるか（リリース直後、一定期間経過後）。	3段階評価	①リリース前後でサポート体制や、構築 S E と運用 S E との役割分担及び連携体制（リリース直後、一定期間経過後）について、具体的に提案されている。 ②リリース直後、一定期間経過後であっても、構築と運用が同一、あるいは連携して協力した体制が提案されている。	-	左記のうち、①～②のいずれか1つで、具体的に提案されている。	-	左記以外								
	30											・運用の品質管理体制が妥当であるか。 ・運用における継続的改善の取組内容は妥当であるか。 ・運用におけるコスト削減について、コミットメントがあれば記載すること。	3段階評価	①運用の品質管理のための取組みや体制の工夫について、具体的に提案されており、効果が見込まれる。 ②運用における継続的改善の取組内容や運用におけるコスト削減についてのコミットメントなどが具体的に提案されており、効果が見込まれる。	-	左記のうち、①～②のいずれか1つで、具体的に提案されており、運用品質の観点、あるいはコスト削減で効果が見込まれる。	-	左記以外	

										採点記号	A	B	C	D	E
										掛け数	1	0.75	0.5	0.25	0
対象	評価項目				配点		評価ポイント			評価	特に優れている	やや優れている	普通	やや劣る	劣る
	大区分	中区分	小区分												
	プレゼンテーション(提案内容の妥当性)				45	45	提案書の記載内容とその妥当性をプレゼンテーションで確認する。 (提案書に記載のない内容(新たな提案等)は認めない)			5段階評価	プレゼンテーションが非常にわかり易い。	プレゼンテーションはどちらかというとわかり易い。	通常のプレゼンテーションであり、プレゼンテーションのわかり易さについて特筆すべきものはない。	プレゼンテーションがどちらかというとわかりにくい。	プレゼンテーションが非常にわかりにくい。
	要件への適合度	機能要件適合度	様式3 標準オプション機能・帳票一覧 様式4 標準仕様書対応表		120	60	様式3 標準オプション機能・帳票一覧の集計結果(要件適合度等)をもとに、システム全体の仕様を確認の上、定性的な評価を行う。			各様式の集計結果をもとに、5段階評価	代替策を含め、本市が必要とする機能要件を、ほぼ全て満たしている(95%以上)。	代替策を含め、本市が必要とする機能要件を、概ね満たしている(90%以上)。	代替策を含め、本市が必要とする機能要件を満たしていないものがあるが、許容できる範囲にある(80%以上)。	代替策を含め、本市が必要とする機能要件を満たしていないものが20%以上の割合を占めるが、業務における要件定義等システム構築の上流工程の作業において、受託者と継続検討・整理することが提案されており、許容できる。	左記以外
						60	様式4 標準仕様書対応表の集計結果(要件適合度等)をもとに、システム全体の仕様を確認の上、定性的な評価を行う。			各様式の集計結果をもとに、5段階評価	代替策を含め、本市が必要とする機能要件を、ほぼ全て満たしている(95%以上)。	代替策を含め、本市が必要とする機能要件を、概ね満たしている(90%以上)。	代替策を含め、本市が必要とする機能要件を満たしていないものがあるが、許容できる範囲にある(80%以上)。	代替策を含め、本市が必要とする機能要件を満たしていないものが20%以上の割合を占めるが、業務における要件定義等システム構築の上流工程の作業において、受託者と継続検討・整理することが提案されており、許容できる。	左記以外
		非機能要件適合度	様式2 非機能要件一覧	非機能要件への対応内容	90	30	様式2①の集計結果(要件適合度等)をもとに、定性的な評価を行う。 国の定める「地方公共団体情報システム非機能要件の標準【1.1版】(令和4年8月)」における「標準非機能要件」「選択レベル」以上となっているか。業務システムを踏まえた提案がなされているか。			各様式の集計結果をもとに、3段階評価	代替策を含め、本市が必要とする非機能要件を、ほぼ全て満たしている。	-	代替策を含め、本市が必要とする非機能要件、概ね満たしている(90%以上)。	-	左記以外
						30	現行システムから標準準拠システムへの移行作業(データ、システム)を円滑に実施するために、事業者として主体的に取り組む事項			3段階評価	①現行システムから標準準拠システムへの移行作業(データ、システム)を円滑に実施するために、事業者として取り組むべき作業が具体的に提案されている。 ②事業者として責任をもち、積極的に事業者間の調整方法などで具体的に提案されており、事業者間の調整に主体的に行われることが見込まれる。	-	左記のうち、①～②のいずれか1つで、具体的に提案されており、円滑な移行作業(データ、システム)の観点で効果が見込まれる。	-	左記以外
						30	利用するCSPについて、ガバメントクラウド利用方式のほか、コストを下げるためのサービスの具体的な利用や利用にあたっての工夫など。マルチクラウド構成となる場合の具体的な制約や懸念事項とその対応内容			3段階評価	①利用するCSP、利用するCSPのサービス、ガバメントクラウド利用方式が具体的に提案されている。 利用するCSPがマルチクラウドになる場合、自治体が業務システム間で複数のCSPを組合せて利用する場合(いわゆる、「マルチクラウド構成」の場合)、制約となること(できなくなること)や懸念されることがないか、具体的に想定できている。 ②CSPのコストを下げるための具体的な方策や工夫が具体的に提案されており、効果が見込まれる。	-	左記のうち、①～②のいずれか1つで、具体的に提案され、最適なCSPの利用やコスト最適化の観点で、中長期的に継続的な改善活動がなされることが見込まれる。	-	左記以外

						採点記号	A	B	C	D	E
						掛け数	1	0.75	0.5	0.25	0
対象	評価項目			配点	評価ポイント	評価	特に優れている	やや優れている	普通	やや劣る	劣る
	大区分	中区分	小区分								
27	各種様式	運用保守要件適合度	様式2② 提案依頼事項一覧(運用保守要件) ※ アプリケーション保守、CSP運用管理、本市向け体制(平常時、障害時)	105	15 様式2②の集計結果（要件適合度等）をもとに、定性的な評価を行う。 ・調達仕様書を踏まえ、本市が求める運用・保守要件を実現するための考え方・実現方法について、本市に必要な内容が具体的に記載されているか。 ・平時運用がどれだけ洗練化されているか（職員側の運用作業負担を伴わないか）。 ・平時運用の本市向け体制について具体的に記載され、本市職員の作業負担を伴わないか。	3段階評価	①平時運用を継続的改善によって洗練させる知見があることが示されており、その知見を適用して実際の運用の工夫をどのように実施していくか具体的に提案されている。 ②平時運用の本市向け体制について具体的に記載され、本市職員の作業負担を伴わないことが見込まれる。	-	左記のうち、①～②のいずれか1つで、具体的に提案され、運用の洗練化や、本市職員の作業負担を伴わないことが見込まれる。	-	左記以外
28					15 様式2②の集計結果（要件適合度等）をもとに、定性的な評価を行う。 ・調達仕様書を踏まえ、本市が求める運用・保守要件を実現するための考え方・実現方法について、本市に必要な内容が具体的に記載されているか。 ・アプリケーション運用管理について具体的に記載され、本市職員の作業負担を伴わないか。	3段階評価	①アプリケーションの運用管理について知見があり、アプリケーションの運用管理におけるポイントが明確であり、実際の運用における工夫について具体的に提案されている。 ②アプリケーションのガバナメントクラウド運用管理補助者の本市向け体制について具体的に記載され、本市職員の作業負担を伴わないことが見込まれる。	-	左記のうち、①～②のいずれか1つで、具体的に提案され、本市職員の作業負担を伴わないことが見込まれる。	-	左記以外
29					15 様式2②の集計結果（要件適合度等）をもとに、定性的な評価を行う。 ・調達仕様書を踏まえ、本市が求める運用・保守要件を実現するための考え方・実現方法について、本市に必要な内容が具体的に記載されているか。 ・障害があった場合の対応について、具体的に提案されているか。 ・障害時対応について具体的に記載され、本市職員の作業負担を伴わないか。	3段階評価	①主な障害のケースが網羅的に想定されており、それぞれの障害があった場合の対応が具体的に提案されている。合わせて、障害対応が円滑に行うための工夫が具体的に提案されている。 ②障害におけるステークホルダーが網羅的に想定されており、受託者が主体的にステークホルダーと連携・調整することで、本市職員の作業負担を伴わないことが見込まれる。	-	左記のうち、①～②のいずれか1つで、具体的に提案され、本市職員の作業負担を伴わないことが見込まれる。	-	左記以外
30					30 様式2②の集計結果（要件適合度等）をもとに、定性的な評価を行う。 ・調達仕様書を踏まえ、本市が求める運用・保守要件を実現するための考え方・実現方法について、本市に必要な内容が具体的に記載されているか。 ・アプリケーション(AP)保守について具体的に記載され、本市職員の作業負担を伴わないか。	3段階評価	①標準準拠システムのAP保守の取組み方針、作業内容、デプロイについて、具体的に提案されている。 ②標準準拠システムのAP保守は、標準仕様書の改版に合わせて受託者が主導して対応するなど、本市職員の作業負担が高まらないことが見込まれる。	-	左記のうち、①～②のいずれか1つで、具体的に提案され、AP保守の洗練化や、本市職員の作業負担が高まらないことが見込まれる。	-	左記以外
31		住登外宛名管理機能要件適合度	様式2③ 提案依頼事項一覧(住登外宛名管理機能要件) ※ パッケージ機能		30 様式2③の集計結果（要件適合度等）をもとに、定性的な評価を行う。 業務システムを踏まえた説明が具体的に示されている。	3段階評価	本市が必要とする機能要件を、ほぼ全て満たしている。	-	本市が必要とする機能要件を、概ね満たしている(90%以上)。	-	左記以外

							採点記号	A	B	C	D	E
							掛け数	1	0.75	0.5	0.25	0
対象	評価項目			配点		評価ポイント	評価	特に優れている	やや優れている	普通	やや劣る	劣る
	大区分	中区分	小区分									
その他提案事項 の充足度	構築スケジュール の妥当性		様式5 構築スケジュール案	30	30	・本市の全体計画と合った構築スケジュールか。 ・提示された構築スケジュールについて、実現性に係る内容が具体的に記載されているか。 ・共通機能などの連携テストも加味した現実的な構築スケジュールか。 ・並行稼働などがなく、負荷がかからない導入移行が予定されているか。	5段階評価	①並行稼働などがなく、本市の全体計画と合った構築スケジュールで、具体的な作業が記載されている。 ②共通機能などの連携テストなど、住民記録、印鑑登録等システムだけでなく、その連携テストについても加味されている。 ③構築スケジュールについて、実現性に係る内容が具体的に記載されており、実現性が見込まれる。	左記のうち、①～③のいずれか2つで、具体的に提案され、現実的な構築スケジュールとなっている。	左記のうち、①～③のいずれか1つで、具体的に提案され、現実的な構築スケジュールとなっている。	左記のうち、①～③のいずれか部分的に問題はあるが、必要な修正を行えば、現実的な構築スケジュールとなる。	左記以外
			構築におけるテストについて	90	45	・アプリケーションのテストについて 住民記録、印鑑登録等システムのアプリケーションのテストについて。 ガバメントクラウド上のシステムとしてのテストについて。 特に、政令指定都市の要件について、パッケージと合わせて、あるいはパッケージと分けてどのようにテストを実施するか。効率的、効果的にテストを実施するための工夫なども具体的に記載されているか。(政令指定都市の要件について、スクラッチシステムのようなテストケースを網羅的に実施しなくてもよいような効率的にテスト実施をするための工夫などについて、具体的に記載されているか。)	3段階評価	①アプリケーションのテスト、ガバメントクラウド上のシステムとしてのテストの作業内容について、具体的に提案されている。 ②アプリケーションのテストは、特に、政令指定都市の要件について、パッケージと合わせて、あるいはパッケージと分けてどのようにテストを実施するか、効率的、効果的にテストを実施するための工夫などが具体的に記載され、本市職員の作業負荷が高まらないことが見込まれる。	-	左記のうち、①～②のいずれか1つで、具体的に提案され、本市のアプリケーションのテストの具体的な作業内容が想定されている、あるいは本市職員の作業負荷が高まらないことが見込まれる。	-	左記以外
					45	・システム間の連携テストについて 標準準拠システム間、令和9年1月時点で標準化移行しない業務システム、標準化対象外の業務システムとのシステム間連携において想定するテスト方針、進め方等	3段階評価	①システム間の連携テストについて、テストの内容について、具体的に提案されている。 ②標準準拠システム間、令和9年1月時点で標準化移行しない業務システム（令和9年1月以降に標準化対応を行う場合も含む）、標準化対象外の業務システムとのシステム間連携において想定するテスト方針、進め方等が具体的に記載され、網羅的に、主体的にシステム間の連携テストに取り組むことが見込まれる。	-	左記のうち、①～②のいずれか1つで、具体的に提案され、システム間の連携テストが円滑になされることが見込まれる。	-	左記以外
				本市標準化対象システムの段階的移行におけるテストについて	15	15	本市の全体計画を踏まえて、住民記録、印鑑登録システムの本稼働後に継続する他の標準準拠システムの段階的な移行のためのテスト等に対応できるか。 住民記録、印鑑登録等システムの本稼働後に継続する他の標準準拠システムの段階的な移行のためのテスト等に対応も調達範囲に含まれるものとされているか。	基礎点	①本市の全体計画を踏まえて、住民記録、印鑑登録等システムの本稼働後に継続する他の標準準拠システムの段階的な移行のためのテスト等に対応について、具体的に提案されている。 ②住民記録、印鑑登録等システムの本稼働後に継続する他の標準準拠システムの段階的な移行のためのテスト等に対応も調達範囲に含まれるものとされている。	-	-	-

							採点記号	A	B	C	D	E
							掛け数	1	0.75	0.5	0.25	0
対象	評価項目			配点		評価ポイント	評価	特に優れている	やや優れている	普通	やや劣る	劣る
	大区分	中区分	小区分									
			法改正対応(本市負荷、コスト)	15	15	・法改正への対応は基本的にASP側で検討・整理され、本市職員に検討・整理の負荷が高まらないか。 ・法改正対応の費用は基本的に無償か。有償の場合、その事由が明確化されているか（ランニングコストに係る不確定要素が多くはないか）。 ・氏名の振り仮名法制化によって、構築に係る追加費用が発生しないか。 ・過去 5 年間の法改正対応費用（本市と同規模団体の実績）が示されているか（実績①案件ごとの有償・無償の別、②有償の場合、その事由と金額）	5 段階評価	①法改正への対応は基本的にASP側で検討・整理され、本市職員の検討・整理の負荷が高まらない。 ②法改正対応の費用は基本的に無償であり、有償の場合、その事由が明確化されている。 ③過去 5 年間の法改正対応費用（本市と同規模団体の実績）が示されている（実績①案件ごとの有償・無償の別、②有償の場合、その事由と金額）	左記のうち、①～③のいずれか2つが明確に回答されており、法改正への対応が基本的に受託範囲に含まれ、ASP側で検討・整理されている。	左記のうち、①～③のいずれか1つが明確に回答されており、法改正への対応が基本的に受託範囲に含まれ、ASP側で検討・整理されている。	左記のうち、①～③のいずれも明確な記載がなされず、法改正への対応については都度協議が必要であるが、標準化でASP側が主体的に法改正に対応することは見込むことができる。	左記以外
			最低利用期間(中途解約金有無)、長期割引(コスト)	15	15	・標準準拠パッケージシステム・サービスについて、パッケージの最低利用年数があるか(例えば、5年以上の継続利用/契約期間であることが必須かなど)。短い期間で契約終了となった場合における中途解約金があるか。 ・契約期間(パッケージの利用期間)を長期にした場合、リプレイス回数が減るため値引きになるか。	5 段階評価	①パッケージの最低利用年数がない。 ②短い期間で契約終了となった場合における中途解約金がない。 ③契約期間(パッケージの利用期間)を長期にした場合、リプレイス回数が減るため値引きになる。	左記のうち、①～③のいずれか2つで、明確に満たしている。	左記のうち、①～③のいずれか1つで、明確に満たしている。	左記のうち、①～③のいずれか部分的に満たさない。	左記以外
			OS、MWバージョンアップ(本市負荷、コスト)	15	15	・OS、MWバージョンアップの対応は基本的にASP側で検討・整理され、本市個別に職員の検討・整理の負荷が発生しないか。 ・OS、MWバージョンアップの対応は有償か、有償の場合が明確化されており、運用においてランニングコストが高くなるリスクが高くないか。	5 段階評価	①OS、MWバージョンアップの対応は基本的にASP側で検討・整理され、本市個別に職員の検討・整理の負荷が発生しない。 ②OS、MWバージョンアップの対応は無償である。	左記のうち、①～②のいずれか2つが明確に回答されており、OS、MWバージョンアップに関し、運用においてランニングコストが高くなるリスクが高まらないことが見込まれる。	左記のうち、①～②のいずれか1つが明確に回答されており、OS、MWバージョンアップに関し、運用においてランニングコストが高くなるリスクが高まらないことが見込まれる。	左記のうち、①～②のいずれも明確な記載がなされず、OS、MWバージョンアップに対応する経費の負担については、都度協議が必要であるが、OS、MWバージョンアップにかかるコストの低減についての代替案が示されている。	左記以外
			標準文字要件への対応予定(経過措置を含む)	15	15	標準化では、データ要件・連携要件標準仕様書により、標準準拠システムが使用する文字要件（以下、「標準文字要件」という。）が規定され、特に氏名等について文字情報基盤文字として整備された文字セット（行政事務標準文字）を使用することで外字を発生させず、容易なシステム間の文字交換を可能とすることとされているか。(経過措置とならないか。)	3段階評価	文字要件への対応について、具体的に提案されている。 経過措置とならない。	-	文字要件への対応について、具体的に提案されている。 経過措置となるが、その場合の住民記録、印鑑登録等システムにおける同定マップ、代替マップなどの文字変換機能の実装方針について具体的に提案されている。	-	左記以外
			ガバメントクラウドと開発拠点とのネットワーク回線の予定有無	15	15	事業者が、ガバメントクラウドと開発拠点との閉域網によるネットワーク回線接続を予定しているか。	基礎点	事業者が、ガバメントクラウドと開発拠点との閉域網によるネットワーク回線接続を予定している。	-	-	-	左記以外
費用内訳			ガバメントクラウドサービス利用料	50	50	(ガバメントクラウドサービス利用料は、本市からデジタル庁に支払うものであるため、受託者の入札金額に含まれるものではないが、受託者がデザインするCSPのサービスの構成によってガバメントクラウドサービス利用料の金額は変わり得ることから、技術点として配点) ・5年分のガバメントクラウドサービス利用料の金額で評価する。 ・相対評価を行う。提案者が 1 者の場合は、分布制限によらず絶対評価を行う。絶対評価は、本市予算額、あるいは見積額などとの比較により行う。	5 段階評価	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位以下

							採点記号	A	B	C	D	E
							掛け数	1	0.75	0.5	0.25	0
対象	評価項目			配点		評価ポイント	評価	特に優れている	やや優れている	普通	やや劣る	劣る
	大区分	中区分	小区分									
42 デ モ ン ス ト レ ー シ ヨ ン	デモンストレーション動画		デモンストレーションを通じて把握できるシステム全体の仕様	100	100	デモンストレーション動画により、システムの操作性（メニュー構成、画面構成、画面デザイン、画面遷移等）について、定性的評価を行う。 主に技術提案書作成要領で指定したデモンストレーション対象機能（業務）について、検索系操作のわかり易さ、登録系操作のわかり易さ、印刷系操作のわかり易さ等を全体的に評価する。	5段階評価	実際にシステムを利用する際に利用者として感じとる品質(例えば、画面のわかり易さ、画面遷移、デザイン、操作のし易さ、必ずしも標準仕様書の機能一覧、帳票一覧に明示的にあらわれない利便性の高い機能の充足度)が高く、利用者として非常に満足できることが見込まれる。	左記の利用者として感じとる品質は、どちらかという高く、利用者として満足できることが見込まれる。	左記の利用者として感じとる品質は、通常水準であり、特筆すべきものはない。	左記の利用者として感じとる品質は、どちらかという低く、利用者として満足できることが見込まれない。	左記の利用者として感じとる品質は低く、利用者として満足できることが見込まれない。
43 費 用 内 訳	様式1 費用内訳書			400	400	・機械的な計算により、金額の評価を行う。 ・予定価格がある場合、予定価格を超える提案をした場合は0点とする。 ・イニシャルコストだけでなく、5年分のランニングコストを含めた金額で評価する。	機械的な計算	-	-	-	-	-
	合計			1,600	1,600							

自由記述欄（技術提案書の内容に限らず、良かった点、悪かった点など意見や提案等を記載）